

経済財政諮問会議の今後の課題・取組について

平成 29 年 2 月 15 日
経済財政諮問会議

2017 年の経済財政諮問会議では、デフレ脱却・経済再生を実現するため、アベノミクス 4 年間の取組と成果のレビューの上に立って取り組みながら、足らざる点については取組を一層強化する。また、今年も、世界の経済政策に関する不確実性により、日本経済も大きな影響を受ける可能性がある。世界経済のリスクへの万全な対応と自由貿易体制の維持・強化への貢献、さらには変動に動じない強靱な国内経済の構築が重要である。

こうした観点から、2017 年前半の諮問会議においては、現下の国際経済環境を踏まえ自由貿易体制を堅持するとの基本的考え方に立ちつつ、現在のマクロ経済環境を維持・強化し、人材への投資、活力ある中間層の形成、デフレからの脱却、潜在成長率の引上げ、医療・介護をはじめとする社会保障改革、財政健全化への取組強化といった課題に重点的に取り組む。

1. 未来を切り拓く改革の実行

(1) 人材への投資

- 格差を固定化させないための教育への投資
- 高度外国人材の活躍促進

(2) 経済の好循環実現に向けた取組の強化

- 消費・投資の持続的拡大に向けた取組
- 自由貿易体制をリードする観点からの取組

(3) 活力ある中間層の形成等

- 格差の現状と固定化回避に向けた取組
- 現役・将来世代支援の強化

2. 財政健全化への取組の着実な推進

「経済・財政再生アクション・プログラム 2016（改革工程表を含む）」を踏まえ、改革を着実に推進するとともに、以下の点について重点的に議論を進める。

(1) 医療・介護をはじめとする社会保障制度改革の推進

- 2018 年度からの各種計画等の在り方
- 社会保障改革推進に向けたガバナンスの強化
- 健康増進・予防の推進（QOL、健康経営、食生活、生産性向上の視点）

(2) 改革の進捗の点検・評価、政策効果の測定・分析の強化

- 財政健全化目標及び改革工程の進捗状況の定量的評価
- 経済・財政再生計画のフォローアップ（特に、費用対効果のチェック等）

(3) 国と地方のシステム改革の推進

- 十分に活用されていないストックの効率的活用(インフラ、土地、空き家、データ等)に向けた取組
- 優良事例の横展開等を推進する国・地方の体制整備、連携等

(4) 経済社会の活力発揮

- 成長促進に向けた、予算と構造改革の一体的検討
- 都市や地域経済におけるヒト・モノ・カネのフロー拡大に向けた仕組み

3. 留意点

- 上記の議論においては、「2030年展望と改革タスクフォース報告書」で提案されたプロジェクトも参考にして、課題提起する。
- 経済・財政一体改革推進委員会は、上記2. の課題についてそれぞれ議論を深め、諮問会議に報告する。
- 米国等各国の通商・経済政策の動向を分析し、これを踏まえた議論を行う。
- 金融政策、物価等に関する集中審議においては、これまで以上に国際経済情勢に留意しながら議論を進める。
- 昨年末にまとめられた薬価制度の抜本改革に向けた基本方針、統計改革の基本方針、科学技術イノベーション官民投資拡大イニシアティブについてフォローアップし、着実に実行する。

(以上)